

平成21年

# 新春座談会

## 未来を切り開く 夢あるたつの

さまざまな分野でまちづくりに取り組んでおられる皆さんにご参加いただき、「未来を切り開く 夢あるたつの」というテーマで西田市長と意見交換をしていただきました。



### = 出席者(敬称略・50音順) =

- ・小田 健二  
霞城館館長
- ・小林 ひとみ  
ヒガシマル醤油株式会社秘書課長
- ・橋本 俊夫  
揖保川町馬場自治会長
- ・宮本 俊郎  
県立龍野北・新宮高等学校校長
- ・除石 陽子  
御津めて室津観光ガイド
- ・芳野 芳造  
たつの市観光協会副会長

### = コーディネーター =

- ・西田 正則 たつの市長

**市長** 本日は大変お忙しい中、新春座談会にご出席いただきありがとうございます。今回の座談会テーマは、「未来を切り開く 夢あるたつの」でございまして、地域の振興や活性化にご活躍いただいている方々にお集まりいただきました。さっそくですが、自己紹介とそれぞれ皆さん方の取組などについてお話ししたいと思います。

**除石** 室津の町並み観光ガイドをしています除石です。11年前に室津海駅館が出来たのを契機に、観光客の方々から道を尋ねられる事が急ぐ多くなり、もっと室津を知ってもらおうという事で、ボランティアを募って結成されたのが「御津めて室津観光ガイド」です。メンバーは8人です。

年間50組約1,500人の方にガイドをしています。ガイドをするには、ガイド自身が室津のことを知っておかなければなりませんので、勉強会をしています。また、年に一度開催される全国ガイド研修会やひょうごツーリズム研修会等に参加し、「よかった」と思ったところを取り入れて

います。

**芳野** たつの市観光協会副会長、また新宮支部の支部長をしています芳野です。

新宮支部の大きな事業としては、地域の地蔵盆に合わせて「みんなで作る納涼ふれあいまつりと花火大会」を開催しています。また、3月1日に「しんぐう楽市楽座 西播磨物産展」として、西播磨のすばらしさや豊かな資源を知っていただくため、西播磨各地の特産物を一堂に集めて、商工会青年部の皆さんが即売会を行います。昨年は約3,500人の参加がありました。地域の産業の活性化と地産地消、近隣市町村へのアピールも合わせて、盛大に行われました。

**小田** 財団法人霞城館の館長をしています小田です。

霞城館は、昭和53年4月に龍野が生んだ近代の文化人、童謡赤とんぼの作詩で有名な三木露風、花と反戦の詩人内海信之、一高寮歌を作詩した矢野勘治、哲学者三木清4人の文献や資料を収集・保管・展示するとともに、次世代を担う青少年の育成施設として

開館され30年が経ちました。その間、図録の発刊、特別展や文化講座及び三木露風コンサート等を開催し、すばらしい龍野の文化伝承に努めてきました。また、今年は4月の初めから6月28日まで兵庫県大型観光キャンペーンに協賛して特別展を計画しています。

**宮本** 昨年4月に開校した兵庫県立龍野北高等学校校長の宮本です。

龍野北高校はご存じのように龍野実業高校と新宮高校が発展的に統合して出来た高校

です。大きく工業・福祉・看護の3つの分野の学科があります。全国的にこのような学科の組み合わせは珍しく、この特色を発揮した学校にしていきたいと思っています。特に、私たちは「まちづくりの担い手」と呼んでいるんですが、地場産業・商業・福祉・医療など地域の基盤になる分野を支えていく子どもたちを、

本校では育てていきたいと思っています。そして将来、地域に残って地域のために貢献してくれる生徒を育てようと思っています。

**小林** ヒガシマル醤油株式会社で秘書課長をしています小林です。

当社は、創業430年余りを数える地場産業の醤油会社です。私は秘書業務と共に広報業務を担当しております。私は龍野に生まれ、醤油の香の中で育ちましたので、醤油は空気のように当たり前に感じておりました。今、日本の伝統的な調味料の醤油業に携わっていることを誇りに思い、日本料理の一翼を担う「淡口醤油」の良さを、より多くの方に知っていただけるよう、広報活動に努めています。



除石 陽子さん



橋本 俊夫さん

**橋本** 揖保川町馬場の自治会長をしています橋本です。

私の自治会では毎年コスモス祭りを開催しています。そのきっかけは、当地区では水田の43〜45%が減反となり、小麦や大豆を生産していたのですが、他に何か栽培できないかと考え、13年前からコスモス栽培を自治会全体で行っています。減反政策の中で、

何とか休耕田を有効利用できないかと考えた結果です。誰もが訪れて潤いとやすらぎを感じられる田園景観づくりを進めています。農村の豊かな自然の中へ都会の方を招き交流することを目的とし、毎年多くの方々に喜んでもらっています。また、準備作業にあたっては、地域フォーラムの一環として8月初旬に種まきを行うのですが、自治会全員参加を基本としています。

**市長** ありがとうございます。今それぞれのお立場からお話を伺った訳ですが、室津へはどちらの方面から、どのような方が来られますか。

**除石** 遠い所では鎌倉から来られました。阪神方面から来られる方が多く、幅広い年齢層の方が来られます。この間、視覚障害の方が来られました。どのように紹介すればいいか苦慮していたんですが、散策していた時に路地から潮風が潮の香りを運んできたんです。それを感じられて「ええとこやなあ」っておっしゃったんです。いい経験をさせていたいただきました。

**小田** 本館では、今朝も札幌から来られた方がありました。昨年9月の新聞に「赤とんぼ」が紹介されて県外からの観光客が大幅に増加し、本館発刊の「露風の童謡」に全国各地から購入の問い合わせがあり反響の大きさに驚いています。また、来館者からは「龍野の町並みと童謡赤とんぼの詩が、忘れていた故郷を思い起こさせてくれる」とよく言われます。

**市長** 新宮、河内、室津はイベントが多くありますね。また、霞城館、高校もそれぞれ地域に根ざしたイベントを工夫されていますね。

**除石** 室津では子どもが参加するイベントがたくさんあります。八朔のひな祭りでは、米粉で作った鯛の飾りを浴衣姿の子どもたちが家々に届けています。昨年はオープンニングイベントとしておくぼりナイトを復活させました。「おくぼり」というのは七夕の夜にお互いの家から持ち寄ったお菓子を交換しあう子どもの遊びですが、大人も参加し大盛況でした。また、がきんちよまつりは子どもたちがイベントの運営を行っています。室津地区では、次世代を担う子どもたちを地区全体で見守っ

**橋本** コスモス祭り当日は、3〜4,000人が来られます。遠くは京阪神間からも来られます。また、延べで7,000人近く来られますが、公共交通機関がないため、JR竜野駅からコスモス祭りの会場まではタクシーしかないのがネックです。イベント内

容は、マンネリ化をなくすため毎年工夫を加えながら企画しています。ミスたつのに来ていただいた場合の経費や、ほ場イベントゆえに障害者の方のトイレなども頭の痛いところですよ。私自身、一つの自治会でこれだけの事業をしている所はないのではないかと自負しています。

**市長** 新宮、河内、室津はイベントが多くありますね。また、霞城館、高校もそれぞれ地域に根ざしたイベントを工夫されていますね。

**除石** 室津では子どもが参加するイベントがたくさんあります。八朔のひな祭りでは、米粉で作った鯛の飾りを浴衣姿の子どもたちが家々に届けています。昨年はオープンニングイベントとしておくぼりナイトを復活させました。「おくぼり」というのは七夕の夜にお互いの家から持ち寄ったお菓子を交換しあう子どもの遊びですが、大人も参加し大盛況でした。また、がきんちよまつりは子どもたちがイベントの運営を行っています。室津地区では、次世代を担う子どもたちを地区全体で見守っ

**橋本** コスモス祭り当日は、3〜4,000人が来られます。遠くは京阪神間からも来られます。また、延べで7,000人近く来られますが、公共交通機関がないため、JR竜野駅からコスモス祭りの会場まではタクシーしかないのがネックです。イベント内



小田 健二さん



小林 ひとみさん



宮本 俊郎さん



芳野 芳造さん

ているんですよ。

**橋本** コスモス祭りの栽培規模は約5万㎡で500万本のコスモスを植えています。満開になるとコスモスのじゅうたんのようになります。イベント内容は、ステージでよさこいおどり、津軽三味線、中学校の吹奏楽、地元の獅子舞や園児の演技などをしていきます。また、各種模擬店を出しています。コスモス畑に摘み取りの募金箱(協力金)を設置します。例年、期間中40〜50万円の収入になります。昨年は晴れた日が多かったため、花の育成に苦労しました。

**小田** 本館には、霞城館友の会、三木清研究会という組織があり、それぞれの研究会や研究発表大会等を開催しています。友の会では、童謡「赤とんぼ」を世界に発信しようと、一昨年、2007「日中文化・スポーツ交流年」に参加し、万里の長城で童謡「赤とんぼ」を大合唱するとともに、桂林市民合唱団と交流しました。また、昨年は、日仏交流150周年記念イベントの「ジャパンウィーク」において、姫路日仏協会の方が現

地で日本語とフランス語で童謡「赤とんぼ」を歌われました。このように、童謡「赤とんぼ」は世界でも歌われるようになってきています。

**芳野** 先日、手をつなぐ兵庫県産うまいもんネットからお話があり、西播磨から何かおいしいものをという事で、室津の漁業協同組合に行きました。組合長に話を聞き、室津の牡蠣を室津ブランドで出されてはと話をしたところです。また、昨年夏、揖保川漁協が全国の清流めぐりきき鮎大会を開催しました。そこで、揖保川の鮎がおいしいとグラブプリ賞をいただきました。昔から揖保川の鮎は有名で、平安時代から御所に鮎を献上していたようです。

**宮本** 龍野実業高校と新宮高校は地域に根ざした活動が盛んで、例えば、龍野実業高校は皮革まつりにファッションショーを行っています。地場産業の皮革を活用して、生徒が工夫をしています。生徒が自分の描いたデザインを皮革業界の方に説明・議論をして、そのデザインに合う皮革を開発していただいたりしていま

す。業界の方に尋ねると、商品開発の参考になると言われていました。実際にファッションショーを行う2日間よりも、そこに至る準備の方が勉強になるといえます。そうした中で、地場産業を理解し、地元を誇りに思ったり、好きになったりして将来地元で働きたいという気持ちになっていくんだと思います。そのような取組を龍野北高校でも継承し、生徒を地域に出て行かせて、まちづくりに関わらせたいと思っています。

**市長** 先日、学校の地域活動が認められ、表彰されたようにお聞きしましたが。

**宮本** まちづくりへの貢献が認められて、「あしたのまち・くらしづくり活動賞」(あしたの日本を創る協会・読売新聞東京本社など主催)の主催者賞という賞をいただきました。

また「まちづくり美術館」といって2月に商店街の空き家を借りて生徒の作品を展示します。いろんな世代の方にも参加していただいています。今後も世代・分野を越えて交流できるような機会を考えて

いきたいと思っています。

**市長** 醤油の製造業だけでなく、幅広い取組がなされており、特に花粉症のサプリメントを開発されたと新聞記事に載っていましたね。

**小林** 当社は、醤油の基礎研究を進める中で、京都大学と兵庫県立大学との共同研究で、醤油に含まれる天然成分「SPS(しょうゆ多糖類)」に抗アレルギー活性や免疫機能を高めたり、鉄吸収促進効果があることを発見し、その機能性を活用したサプリメントを開発・商品化しました。醤油から生まれた天然成分なので副作用がなく、利用者が伸びているんですよ。

**宮本** 本校では、ヒガシマル醤油株式会社から講師をお招きし、食品業界や職業についての話をいただいています。地場産業の核になる企業のお話を聞かせていただき、生徒にとって貴重な体験となっています。

**芳野** デザイン科の生徒をはじめ、高校生のアイデアはすばらしいと思います。そうめ



西田正則たつの市長

ん料理でもいろんな料理を考  
えておられるそうですが、そ  
れを素麺組合に話して取り上  
げてもらったらどうでしょ  
うか。

**市長** 私は常々職員に工夫し、  
よく考えて仕事をするように  
言っています。国や県が決め  
た全国一律の事業メニューを



選択するだけでなく、地域の  
実態、実情に合う事業を考え  
ることが重要です。それには、  
市民の力を借りながら、行政、  
職員が「考え方の改革」、つ  
まり自分自身の意識を変える  
ことが、今は求められている  
んです。ひとつ事例を申し上げ  
ますと、龍野の紫黒米です。  
これは、職員があちこち走り  
まわって探し出したもので、  
その紫黒米からワインや健康  
酢が開発されました。今では  
アイスクリームやゼリーにも  
活用されています。職員が走  
りまわって探した紫黒米から、  
15種類の食品が開発され、ど  
んどん広がっています。  
日本の食糧自給率が40%そ  
こそこで、農業も自給率をあ  
げる工夫をしていかなければ

ならない時代がきています。  
ヒガシマル醤油株式会社で  
は、揖保川町の馬場や金剛山  
をはじめ、地元でとれた高た  
んばくの小麦を使って醤油を  
作っておられます。揖保川町  
の河内地区は、高タンパク小  
麦はもとより、そば・とうも  
ろこし・紅花・コスモスの栽  
培等いろいろな農業へ対して  
の取組をしていただいていま  
す。河内地区の田畑は、草一  
本と生えておらず、いつも頭  
の下がる思いがしています。

**小林** 醤油の原料の小麦は、  
以前は輸入に頼っていました  
が、当社は、この地に醤油醸  
造業が発達した原点に戻る必  
要があると感じました。醤油  
業がこの地で発達した背景に  
は、播州平野の良い米と小麦、  
三日月大豆、赤穂の塩、そし  
て揖保川の伏流水と水運があ  
ります。自分たちが造る醤油  
は、自分たちの目で見て納得  
できる原料を使いたいという  
こだわりと良質な淡口醤油を  
造りたいという思いから、淡  
口醤油醸造に適したタンパク  
質含有量の高い「高品質完熟  
小麦栽培」に10年前から取り  
組みました。JA兵庫西の協力の下、地元

JA兵庫西の協力の下、地元

の約80の生産者団体や農家、  
そして県農林水産技術センタ  
ーや龍野農業改良普及センタ  
ー、市の農林水産課と連携し、種  
子の選定・苗の栽培方法から  
収穫時期の管理までの生産体  
制の構築が実現しました。こ  
の取組が全国の先進的な「農  
商連携」のモデルケースと  
して、昨年、農林水産省と経  
済産業省から兵庫県で唯一  
「農商連携88選」の一つに  
認定されました。

また、全国醤油品評会で最  
高位の農林水産大臣賞を受賞  
した淡口醤油「龍野乃刻」に  
は、地元産の小麦を使ってい  
て、大変好評を頂いています。  
全国に「龍野」の名をアピ  
ルできているのではないかと  
思っています。

**橋本** 馬場や金剛山では、営  
農組合が中心となっていてい  
ろんな作物を作っています。農  
業も機械化されて、楽になり  
ました。

また、近年は、野菜の季節  
感がなくなってきた、野菜の  
旬を知らない人が多くいると  
思います。農業技術の革新等  
により、トマトやきゅうりも  
年中市場に出回っています。  
揖保川トマトは大変なブラン

ドとなり、ハウス栽培のため  
真冬を除いて年中提供してい  
ます。

**芳野** 川魚についても同じで  
す。養殖アユが出回り、大半  
の人は天然アユの美味しさを  
知らないと思います。

**除石** 室津でガイドをしてい  
ても旬の魚について知らない  
人がたくさんおられますよ。

**市長** いろいろ貴重なご意見  
をいただきましたが、この辺  
で皆さんに「夢あるたつの市」  
にしていくための必要なこと  
について伺いたいと思います。

**小田** たつの市は、江戸期か  
ら明治・大正・昭和・平成と  
途切れることなく地域の歴史  
と文化を大切にしてきたこと  
が、歴史と文化の香るまちと  
言われるようになった由縁と  
思います。若い人たちがこの  
まちに住んで子育てがしたい  
と思われればまちになってほし  
いですね。それぞれの地域で  
先人たちが育まれた文化をよ  
り一層大切に、次世代を担う  
子どもたちの心のふるさとづ  
くりを注ぎたいものです。  
霞城館から、竜野インターを



降りたあたりに大型の観光マップを設置してほしいという話を聞きます。また、外国からの観光客に対する対応についても考えて欲しいですね。

**小林** 揖保町門前に寶林寺というお寺があります。このお寺は、京都の「大徳寺」の開山「大燈国師」の遺徳を顕彰し、誕生地を記念するために建てられたお寺です。大燈国師は、今から720年前にたつのに生まれ、禅の臨済宗の大本となっている偉大な人物です。また、室津の賀茂神社、室津の歴史、唐荷島など「たつの」の由緒ある歴史や地名の由来を市民が知り、文化度の高いまちになっていけばいいなあと思っています。当社では、連携団体を中心に、今

後は体験型のイベントを企画したいと考えています。まず、今年の2月頃に「龍野乃刻」の原料小麦の「麦踏みフェスティバル」を企画しています。また、今年4月から実施される兵庫県大型観光キャンペーンで、当社は「日本一の淡口醤油工場見学と醤油手作り体験」を実施します。たつのに住んでよかった、たつので働いてよかったと思えるまちづくりに努めたいと思います。

**芳野** イベントは、住民をまちおこしに呼び込むための仕掛けになると思います。観光という商品は、実際に体験してもらわなければ価値を生みません。昨年、教育委員会のたつの歴史絵巻新宮編という

イベントに参加させていただきました。新宮の宮内遺跡周辺が会場となっていたのですが、土器づくりなど弥生時代の生活を体験するイベント内容もあり、今まで住んでいて気付かないことが多くありました。たつの市内には多くの古代遺跡があるので、観光ルートをつくり遺跡を巡れるようにするのはどうでしょうか。コミュニティバスで遺跡を探索できるようにできないでしょうか。ルートづくりについて考えて欲しいですね。また、小・中学生がどんどんイベントに参加して欲しいと思いますね。観光に力を入れる目的は、たつのブランドの確立にあると思います。

**除石** 自分の住んでいるまちなことを知らないという好きになれないと思うんです。子どもも参加できるイベントとして、御津の場合は、大根の種まきから収穫まで体験してみるころなどが考えられますね。社団法人となり故郷を離れても、故郷を思い出せる子どもを育てていきたいです。人情味あふれるまちがいいですね。

**宮本** たつの市の魅力を子ども

もたちに伝えていくことが学校の使命だと思っています。たつの市には子どもも参加できるイベントがたくさんありますが、従来からあるものをそのまま引き継いでいても駄目だと思っています。いろいろと工夫をしていくことが大切だと思います。小・中学生と高校生が交流できるイベントを開催したいと思います。また、観光パンフレットなどを高校生に作らせてみてはどうでしょうか。総合デザイン科の生徒にとってもいい勉強になると思います。昨年は、高校生が障害者向けの観光パンフレットを作ったんです。目的や利用者にあったパンフレットが必要だと思います。

**橋本** 私は、少し視点を変えて申し上げますが、現在の行政は予算執行型でさまざまな事業を実施していると思うんです。一方、一般の企業はいかに経費を節減するかという努力をしていると思います。これからの行政の予算編成は、成果主義を取り入れることも必要ではないでしょうか。

**市長** 皆さんのご意見をお聞きし、まとめさせていただきます。

まず。  
第一に、まちづくりは、郷土に愛着を持ち、市民一人ひとりがまちづくり・人づくりに参加し、関わっていくことだというのを強く感じました。

第二に、人に頼らず、小さなことでも自分で考え、行動し、作っていく、これが大切なんです。皆さんが各地区で取り組んでおられる活動は、まさにそれを実践しておられます。例えば、龍野実業高校の生徒が行っている皮革まつりのファッションショーも、西脇高校や相生産業高校、神戸のファッション専門学校へと広がっています。地域づくりは、市民一人ひとりが、まちづくり・人づくりに参加することから始まるんです。行動する過程で、失敗や苦勞はつきものです。

第三に、山・川・海の自然も大切、歴史や伝統、モノも大切、そして市民の工夫が生かされる行政の仕掛けづくりも必要であることに改めて意を強くした次第です。

本日は長時間にわたり、貴重なご意見・ご提言を賜り、ありがとうございます。